

2022年8月27日 閉会行事

閉会のあいさつ

連盟会長 藤原康洋

開会のあいさつで申し上げましたように、私自身がこの閉会行事に参加できませんこと、申し訳ございません。参加しえた限りでの感想を交えて閉会の挨拶に代えさせていただきます。

まず、安平町教育委員会教育次長の長桶憲義様より早来学園の挑戦のお聞きしました。地震が強いたピンチをチャンスに、単なる復旧をめざすのではなく、世界と会う場の創設を目指して児童・生徒が主体的に参画する様子が手に取るように理解でき、おおきな刺激を頂戴しました。ありがとうございました。

また CREATIVE OFFICE CUE ご代表の鈴木貴之様からは、多角的な視点をもって挑戦することの大切さを改めて教えていただきました。基本、保守的な存在である学校関係者にとって、挑戦の実践者の生の声をお聴きすることで、私達も一歩を踏み出す勇気を与えられました。想像すること、しかし読書の裏付けのもと、とのメッセージも与えられました。感謝申し上げます。

午前の公開授業では、ご助言いただきました立命館大学大学院教職研究科の井上雅彦教授、HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS ご代表の齊藤雄大様、ゆいと法律事務所ご代表の石塚慶如様、そして各教員の皆様。また午後の分科会では、芝浦工業大学附属中学高等学校の岩田亮、横山浩司、小川賢一郎各先生、株式会社カエカの小倉琳様、平取町教育委員会教育長の庄野剛様、Brooks Secondary School の平松瑞翔様、立命館大学国際関係学部の細川翔平様。皆様には大変にお世話になりました。ありがとうございました。

改めまして第27回の附属校サミットにご参加をいただきまして、ありがとうございます。多彩な講師陣によるご講演・ご発題から、多くの刺激とヒントを与えられたことと存じます。どうぞ、一つでもご勤務の学校に持ち帰えられて明日からの実践につなげていただければ、会を運営するものとして、これに優る喜びはございません、

本日を実り多い一日とすべく膨大なご尽力をしていただきました、開催校である立命館慶祥中学校・高等学校の先生方、本会幹事の皆様、そして事務局の皆様に、心からの感謝を申し上げます。

最後に、来年の会場校である昭和女子大附属昭和中学校・高等学校の真下峯子校長をはじめ教職員の皆様、大変なお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日は皆様、ありがとうございました。来年の再会を楽しみに、皆様どうぞ、お元気お過ごしくださいますよう祈念申し上げます。